

「平和」とは

西中学校 2年 加藤 由唯

私は戦場へ行った事ありません。

工場で働かされた事ありません。

食べ物に困った事ありません。

けれど、戦争の事やその時の生活などは学んだ事があります。

初めて学んだ時は悲しい作り話を聞いているかのようにただ、「悲しかった
だろうな、苦しかっただろうな。」と思った記憶があります。

思えば「戦争」についてはよく学びますが、「平和」については言葉こそ覚えますが、しっかり学ぶ事は少ないように思います。

学ばずとも知ってるからなのでしょう。

本当にそうなのでしょう。

私はそうは思いません。

「平和」というものは実は誰にも分からないもののような気がします。

試しに「平和」について一緒に考えてみませんか。

「平和」は「平たく和やか」と書きます。

これらの事からはただただ安定した状態をいうでしょう。

しかし、本当にそれだけでしょうか。

時には大きな壁にぶつかってもがき苦しむ事だってあります。

友達とケンカして自分の気持ちをぶつけてしまって後悔してしまう事も。

日々の「平和」の中にこれらのような事も存在している事も事実です。

しかし「戦争」は違ふと強く思います。

人を傷つける事。泣かせる事。苦しませる事。これらの事を「平和」というのはあまりにも忌まわしく思います。

つまり、私が言いたいのは「平和」とは自身の苦しみを、辛さを同じ人間と共に乗り越える事をいうのではないのでしょうか。

きっと戦争時は人々にとっては決して「平和」を感じる事が出来なかったことでしょう。

だからこそ今を生きる私たちが「平和」について考えなければいけないと思います。

世界では辛く悲しい戦争が実際に起こっています。

私は「平和」な世の中だからとそこから目を背けてはいけないと思います。

もう一度言わせて下さい。

「平和」とは自身の苦しみや辛さを仲間と共に乗り越えることだと思います。

私は戦場に行った事ありません。

工場で働かされた事ありません。

食べ物に困った事ありません。

けれど日々の「平和」を愛し、仲間と共に守る事は出来ます。